

美幌町

8344 山田 由香里

1.概要

1.1 地名の由来

多くの清流が合流して水量が豊富なところをアイヌ語でところを「ピ・ポロ = 水多く・大いなるところ」といい、これが転訛して「ピホロ」と名付けられた。明治初期までは、カタカナで表記していたが、明治8年5月に漢字の「美幌」に統一された。

この名のとおり、美幌町には大小合わせて60本を数える美しい川が流れ、美幌峠を源とする美幌川は「母なる川」として多くの恵みをもたらしてきた。

1.2 歴史

美幌町の始まりは、明治20年(1877年)7月、美幌外5か村戸長役場の設置に始まる。

大正元年(1912年)池田～網走間の鉄道が全線開通し、移住者が増加し大正4年(1915年)2級村制を施行し美幌村となった。大正8年(1919年)に現津別町を分村し、大正12年(1923年)1級町制が施行され「美幌町」が誕生した。

昭和15年(1940年)には、全道の町村に先駆けて都市計画地域に指定を受けており、計画的な市街地の整備は道路交通の要衝として、中心市街地に商工業、金融、医療、教育、官公庁の出先機関が設置され発展してきた。

また、基幹産業の農林業は網走川、美幌川の流れに沿って拓かれた美幌原野と、その豊かな実りによって町が栄え、人口25000人余りの道内有数の町としても発展してきた。

1.3 地理・気候

美幌町は北海道の東部・網走支庁管内のほぼ中央部、網走市から30キロ程度内陸に位置している。

地形は平野に広がり網走市と北見市のほぼ中間に位置し、南部には釧路支庁と隣接する美幌峠があり、多くの道路が集まる交通の要所でもある。

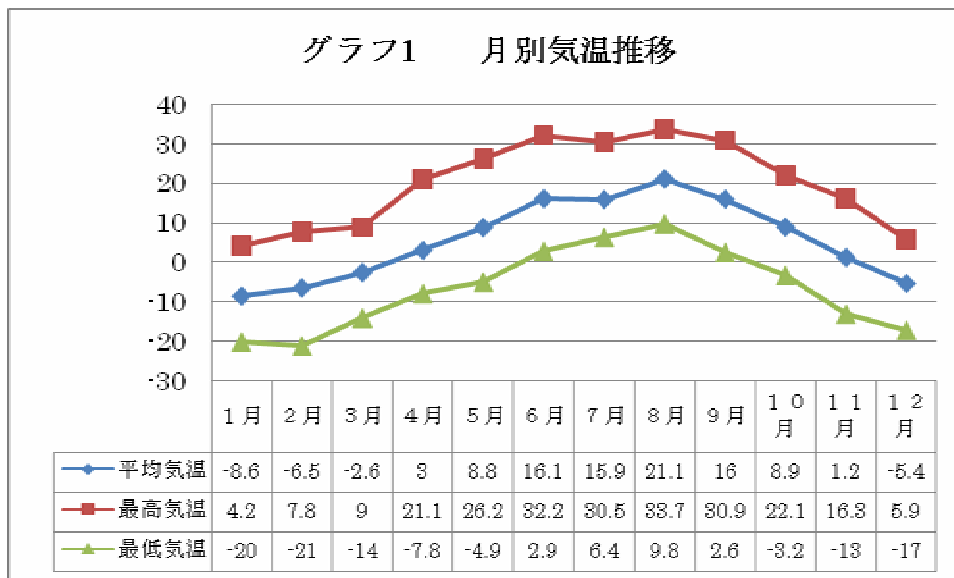
図1 美幌町の形



図2 美幌町の位置



出典 美幌町 HP

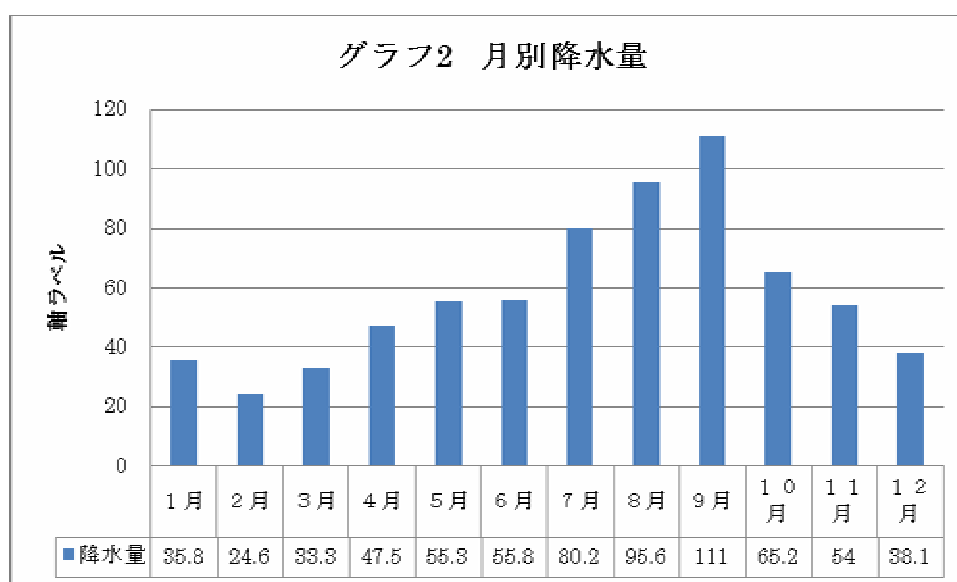


出典 気象庁 HP

美幌町は北緯 43 度、東経 144 度の位置にあり、南フランスのマルセイユやナイアガラの滝と同緯度である。

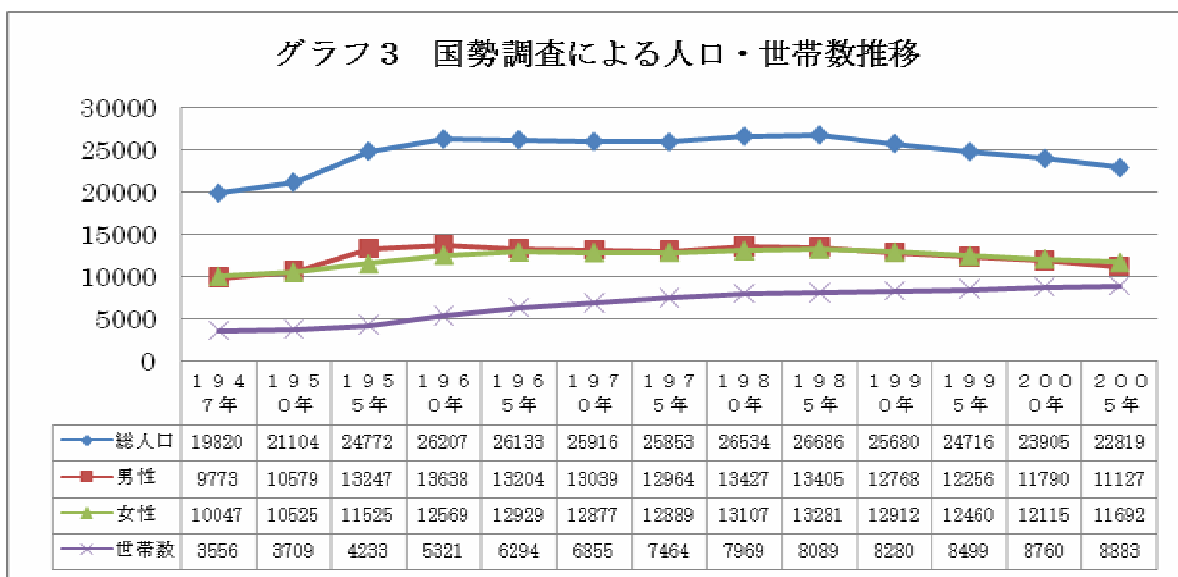
気候はオホーツク海沿岸の海洋型気候のため、夏は暑く、冬が寒いというのが特徴的である。また湿度が低いため、過ごしやすいというのも特徴的。

過去最高気温は 2000 年 7 月 31 日と 1994 年 8 月 7 日に記録した 36.5 度で過去最低気温は 1978 年 2 月 17 日に記録した -31.2 度である。

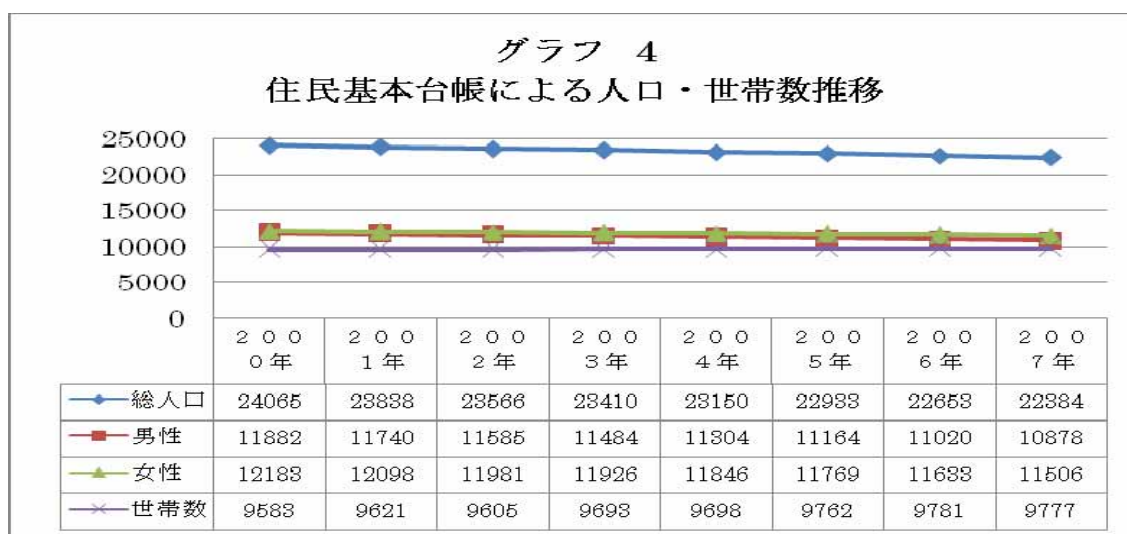


出典 気象庁 HP

4. 人口・世帯数推移



出典 道庁 HP



出典 道庁 HP

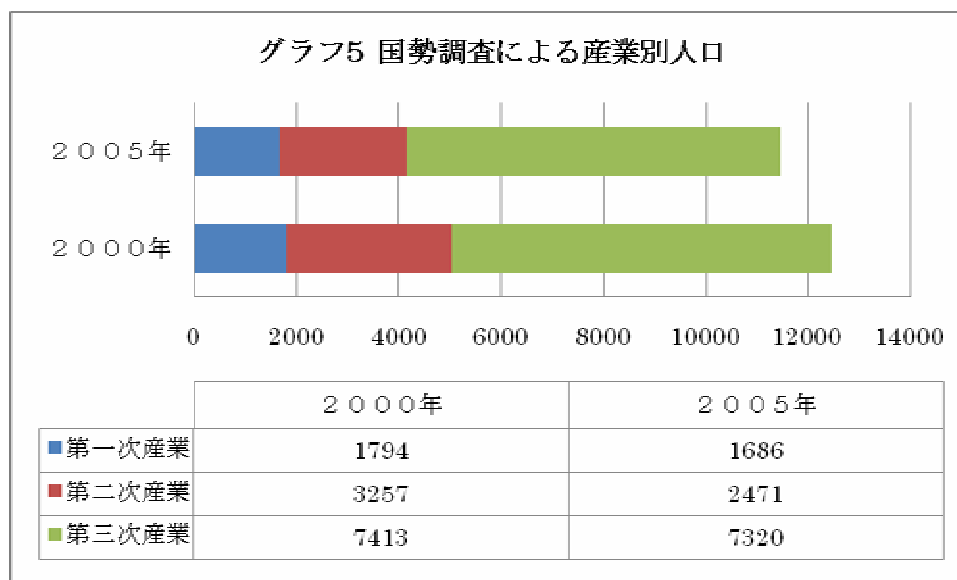
グラフ 3 より、グラフには示されていないが美幌町の人口は昭和 39 年の 28479 人が最高だった。その後は緩やかな減少を続け平成 17 年の国勢調査では 22822 人になった。統計学に基づいた人口推計によると平成 27 年度には約 20000 人にまで減少するそうだ。これは進展する少子化や労働人口の流出などが原因として考えられる。

また昭和 60 年から人口が減っているにも関わらず世帯数が伸びていることから核家族化が進行しているというのも推測できる。

グラフ 4 より、少子化や企業の減少、官公署の統廃合による労働人口の流出などによって人口が毎年減少しているのがわかる。

5. 産業

5.1 産業別人口



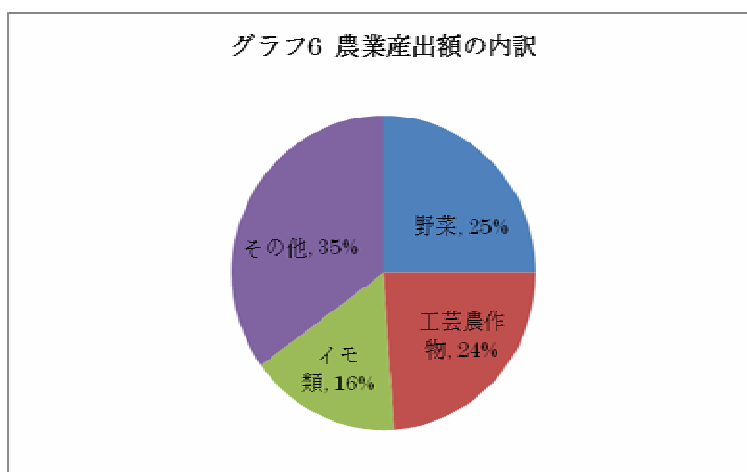
出典 道庁 HP

平成 12 年データと平成 17 年のデータを分析してみると、どちらの年においても第一次産業就業者の大部分が農業を占めているようである。また第二次産業においても建設業と製造業への就業者数が圧倒的に多い。

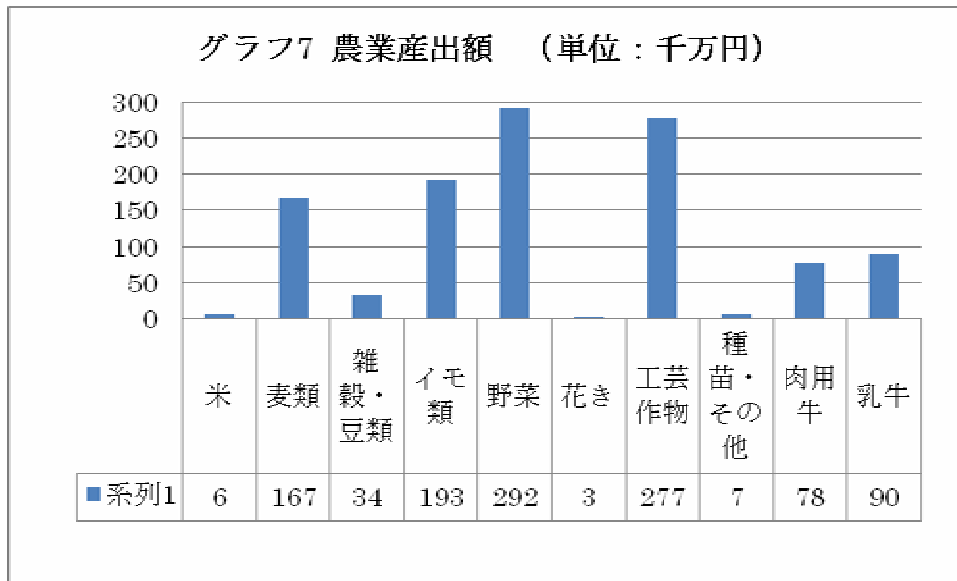
美幌町は農業が基幹のイメージだが、サービス業など第 3 次産業で就業している割合が多いということがこの統計から読み取れる。

5.2 農業

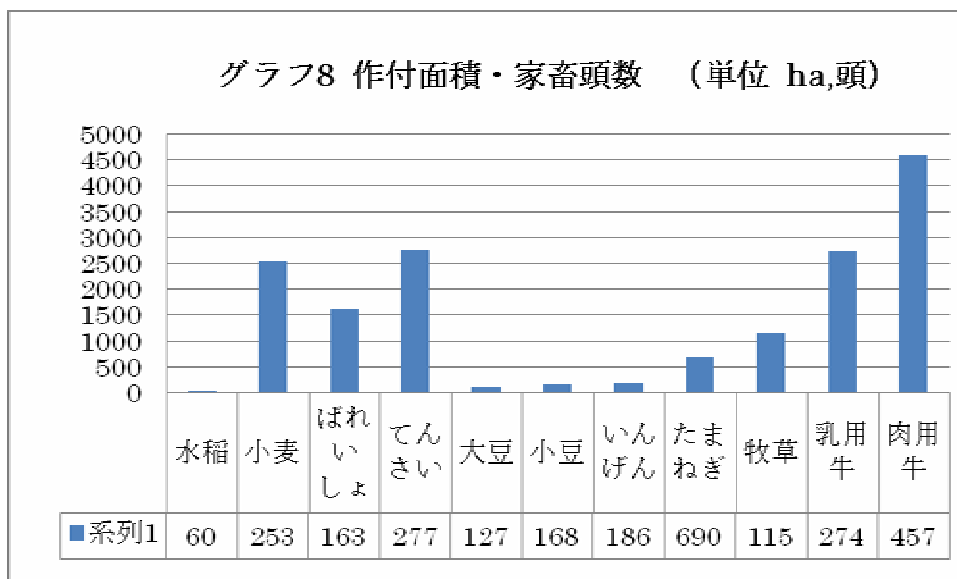
約 1 万 h a の沃野を有する農地から生産される主要作物はビート（甜菜）、馬鈴薯、小麦であり、大型収獲機の導入や環境調整施設が整い、また安定した輪作体系が行われているので、高品質な生産物が安定供給されている。



出典 道庁 HP



出典 網走農業美幌支所 HP



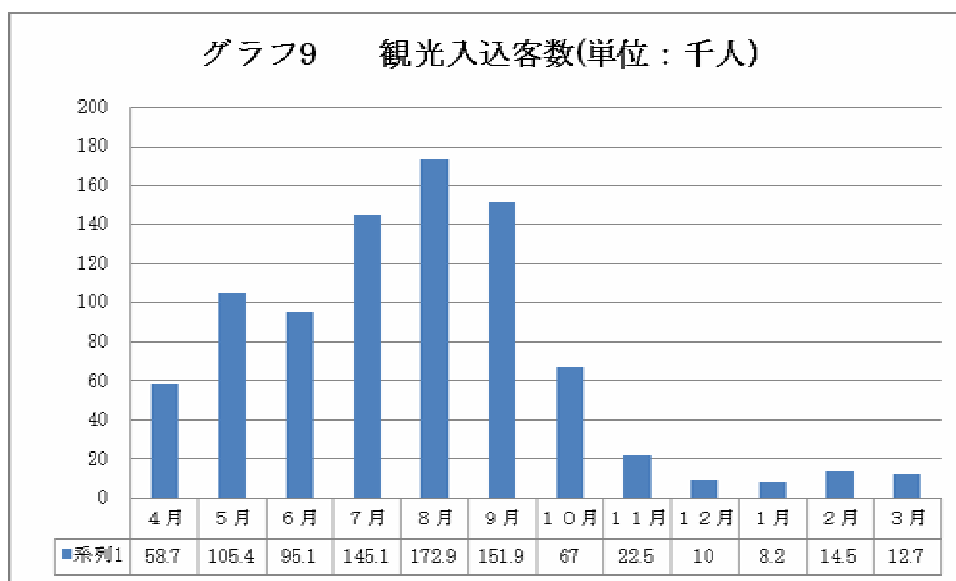
出典 美幌町農業協同組合HP

美幌町の主要作物がビート、馬鈴薯、小麦であることから図 3 の農業産出額のデータやグラフ 7 の作付面積のデータを見てもそれらの数値が高いことがわかる。

また、美幌町は農業が発達していることもあり、農業館といった施設もあり、美幌町の農業の現状と役割をこの施設で理解することもできる。

肉用牛と乳用牛の家畜頭数が多いにも関わらず、農業産出額の値が低いというのもグラフから読み取れる。

6.観光



出典 網走支庁 HP

グラフ8より、美幌町に訪れる観光客は夏が多く、冬が少ないということが読み取れる。気候の部分で触れたが、美幌町の気候は夏は暑く、冬は寒いというのが特徴である。このことを考えたら、夏に観光客が多く訪れるということが理解できる。

6.1 美幌町の主なイベント

図3は毎年2月に行われる美幌冬祭りの様子である。このイベントでは寒中焼き肉パーティやミニ雪像コンテスト、雪上パーリングや耐寒ラジオ体操といった催しも行われ、2005年の来場者数は

5000人を記録し、美幌町の大変賑わうイベントのひとつである。

図3 美幌冬まつり



出典 美幌町 HP

図4は毎年7月に行われる美幌町の真夏の一大イベントである、美幌観光和牛祭りの様子である。このイベントでは野外焼き肉パーティはもちろん、こども広場にはフアファゾウといった遊び場や乗馬体験、熱気球体験もできる。来場者数は約20000人と大勢の人で毎年賑わう。

図4 美幌観光和牛まつり



出典 美幌町 HP

図5は毎年9月に行われる美幌ふるさと祭りの様子である。このイベントでは町民手作りの出店がたくさん立ち並び、毎年たくさんの人々で賑わう。

図5 美幌ふるさと祭り



出典 美幌町 HP

図6 みどりの村



出典 美幌観光物産協会 HP

6.2 美幌町の名所

図6は美幌町の名所のひとつであるみどりの村である。みどりに囲まれた総面積33haのみどりの村には図7の森林公園キャンプ場や、図8の親子ふれあい農園といった施設もある。

図7 森林公園キャンプ場



出典 美幌観光物産協会 HP

図8 親子ふれあい農園



出典 美幌観光物産協会 HP

図9の美幌峠の海拔525mの頂上からは世界第二のカルデラ湖である屈斜路湖や今なお噴煙を吹く硫黄山、晴れた日には遠くに知床連山や大雪の峰峰が連なる壮大なパノラマが広がる。

図9 美幌峠



出典 美幌観光物産協会 HP

参照 HP

美幌町 HP <http://www.town.bihoro.hokkaido.jp/>

道庁 HP <http://www.pref.hokkaido.lg.jp/>

網走支庁 HP <http://www.abashiri.pref.hokkaido.lg.jp/>

気象庁 HP <http://www.jma.go.jp/jma/index.html>

網走農業美幌支所 HP <http://www.agri.pref.hokkaido.jp/fukyu/sys/index.html>

美幌町農業協同組合 HP <http://www.jabihoro.or.jp/>

美幌町観光物産協会 HP <http://www.media-pk.com/bihoro-kb/>